

Nutrition Support Times



NST濃厚流動食試飲会大成功！

この8月23日 NCM 講演会と濃厚流動食試飲会を同時開催いたしました。試飲会は初めての試みでどうなるかと思っていましたが、140名ほどのみなさんが来てくれ大成功だったと思います。日頃患者さんに勧める濃厚流動食ですが、実際自分が飲んでみると患者さんの思いも少しはわかるのではないのでしょうか。飲みやすさや種類など、おいしいものそうでないもの、でもがんばって飲んでいる患者さんをあらためて褒めてあげる気持ちになれると思います。また、講演会では東別府チエマンが経腸栄養について実践に基づいたお話をわかりやすく説明していただきました。当院では拒否

されがちなPEGですが、経口摂取が長期間できない患者さんには大変有用なものであり、腸管を使用することで免疫力を維持し、より生理的な消化吸收等を望むことができます。また、完全に経口摂取ができるようになればふさぐこともできるのです。嚥下障害の患者さんが経口訓練していく上でもPEGは重要な栄養摂取ルートであり、嚥下訓練をしながら不足分を補充するということが可能です。TPNでは感染の危険性が高く、PPNでは高濃度の投与を長期間投与するのに向いていない、やはりPEGは重要な投与ルートだということがわかります。

最後にこの試飲会・講演会に裏方と徹していただいた庶務の方々ありがとうございました。皆様のご協力により結果を得ることができました。本当に感謝いたします。

エッヘン！私が影で指揮をとりました



当院にはチーム医療の充実が必要

NSTスタッフ一同は、新生NST chairman 東別府先生の言葉通り、『当院のNSTは問題点だらけだけど、栄養状態が改善するに従って元気を取り戻していく患者さんを見るのが一番の楽しみ』として頑張っています。



はて、NSTって？

NST活動って何をしているの？それが病院・患者さんにとってなんになるの？そんな疑問にこれから答えていくのが Nutrition Support Times です。NSTが患者さんに関与するとNanto SutaminaがTukって？え？患者さんにスタミナが付き病気が治りやすくなり元気になるんです。そんな現活動内容等の紹介を少ししたいと思います。

NSTはPPM(Potluck Party Method)で運用されている

各部署から人・知恵・力を持ち寄って運営するシステム“もち寄りパーティー”

方式で運用しています。

NST介入で合併症が減る

患者さんの治療を邪魔せず合併症を起こさないように治療効果を上げる相乗作用をもたらします。

脂肪性剤や輸液組成の変更、投与量の調整

TPN(中心静脈栄養法)を3週間以上続けるとTPNに関連した肝機能障害が慢性化し肝内胆汁うっ帯が高度となり肝の繊維化、肝硬変などを起こすことがあります。グルコースを主たるカロリーとしているため脂肪肝がみられるので脂肪乳剤の併用がその予防に良いと考え脂肪乳剤の併用を奨めたり、経口摂取への移行、輸液組成の変更、投与量の減量を提案します。

消化管を使うことによって免疫能があがる

経口摂取への移行に関しては嚥下チームと協力して極力患者さんの

消化管を使って抵抗力を高める方向へ栄養管理において提案します。経口摂取により栄養管理をすることで患者さん自身の持つ抵抗力(患者さんの自然治癒力)を高める方向を目指すのがNSTの役目のと考えます。

温度差があるけどみんなで頑張っていきましょう

NST活動に対する医師・病棟間でも温度差があり、医師・看護師・スタッフなどにも栄養に対する理解が不十分と考えられるので、勉強会などによる継続した教育活動が必要であり、NSTを発展させるために、患者データを管理する支援ソフトや、NST活動を支援するNSTパスが求められています。

NSTを共通の言語として、まずは、月一回のNCM講演会(次回は10月2日火曜日)からみなさん参加してみましょ。

by S. I

試飲会には皆様多数参加いただきありがとうございました。NSTスタッフ力を合わせがんばりました。今後も栄養療法の普及、チーム医療の充実に努めてまいりますので、ご協力よろしくお願ひします。また、NSTに興味ある方の参加おまちしています。 毎週水曜日 PM1:00～ カンファレンス・回診 カンファレンス場所:8F(861)NSTカンファレンスルーム